



2025 年5月 15 日

各 位

会 社 名 ジオリーブグループ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 植木 啓之
(コード:3157 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 執行役員 経営企画部長 畠山 暁
(TEL:03-4582-3380)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2025 年5月8日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、現状を分析し改善に向けた方針や取り組みを決定いたしましたのでお知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」をご覧ください。

以 上

資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応

2025年5月15日

ジオリーブグループ株式会社



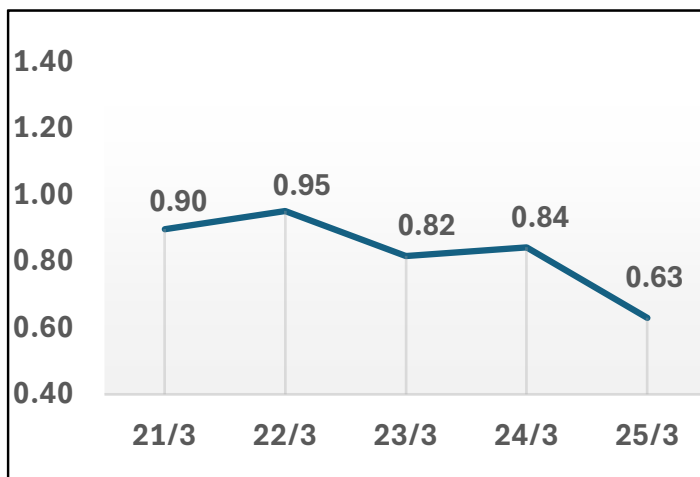
GEOLIVE

次の生き方をつくろう。

現状分析と課題認識

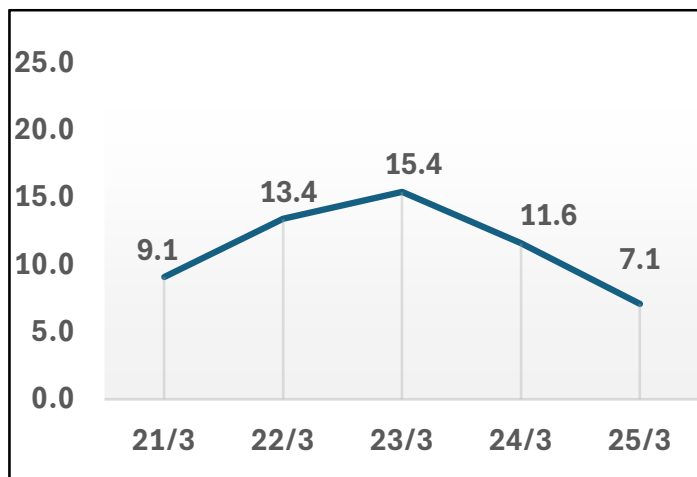
PBRの分解

PBR
(5年平均0.83倍)



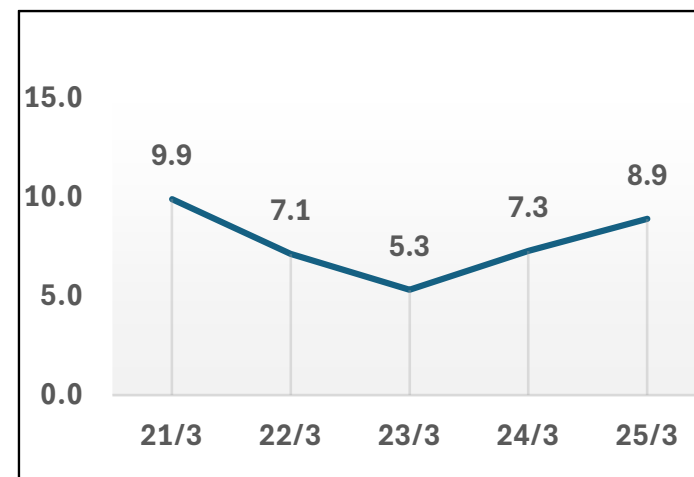
=

ROE
(5年平均11.3%)



×

PER
(5年平均7.7倍)



- ◆ PBRは過去5年間で1倍を下回る水準が続いている
- ◆ ROEは5年平均11.3%で、当社算定の株主資本コスト**6%前後**であり、それを超える水準を維持している一方で投資家から見た株主資本コストは流動性リスクなども加味され**10%前後**であるという認識
- ◆ PERは5年平均で7.7倍の水準となっている

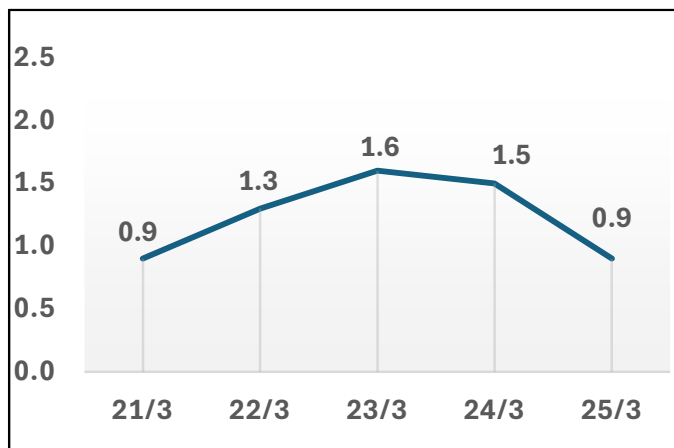
課題認識

PBR 1倍以上を確保するためには、エクイティスプレッドの拡大が重要でありROEの更なる向上が課題

現状分析と課題認識

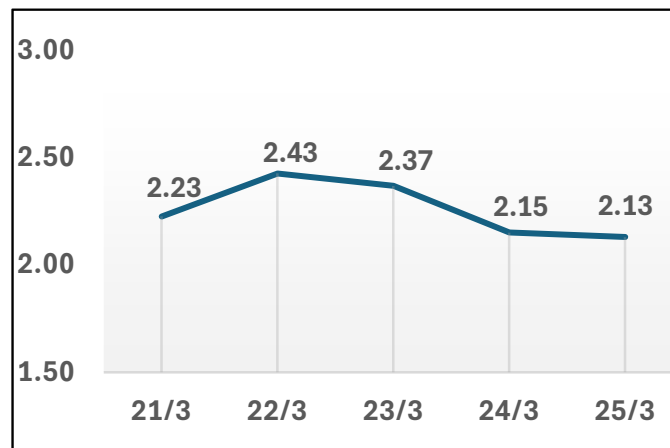
デュポン分析

$$\text{ROE} = \text{売上高純利益率} \times \text{総資産回転率} \times \text{財務レバレッジ}$$



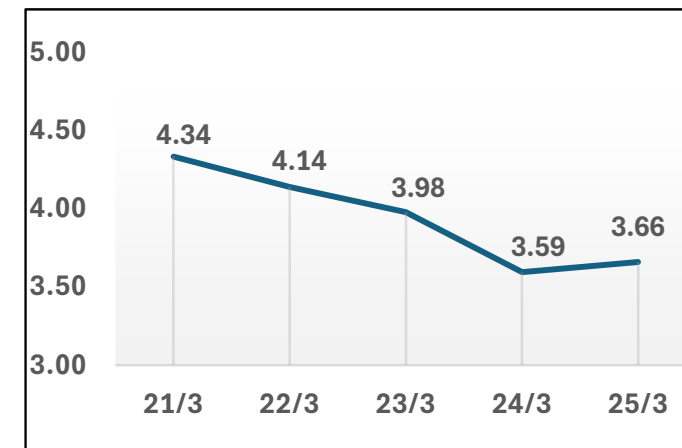
人件費やIT関連費用等の販売管理費の増加等により低下傾向

収益性向上



総資産回転率は2回転前半で推移

資産効率向上



財務体質の改善が進み、財務レバレッジは4倍以下を維持

負債の有効活用

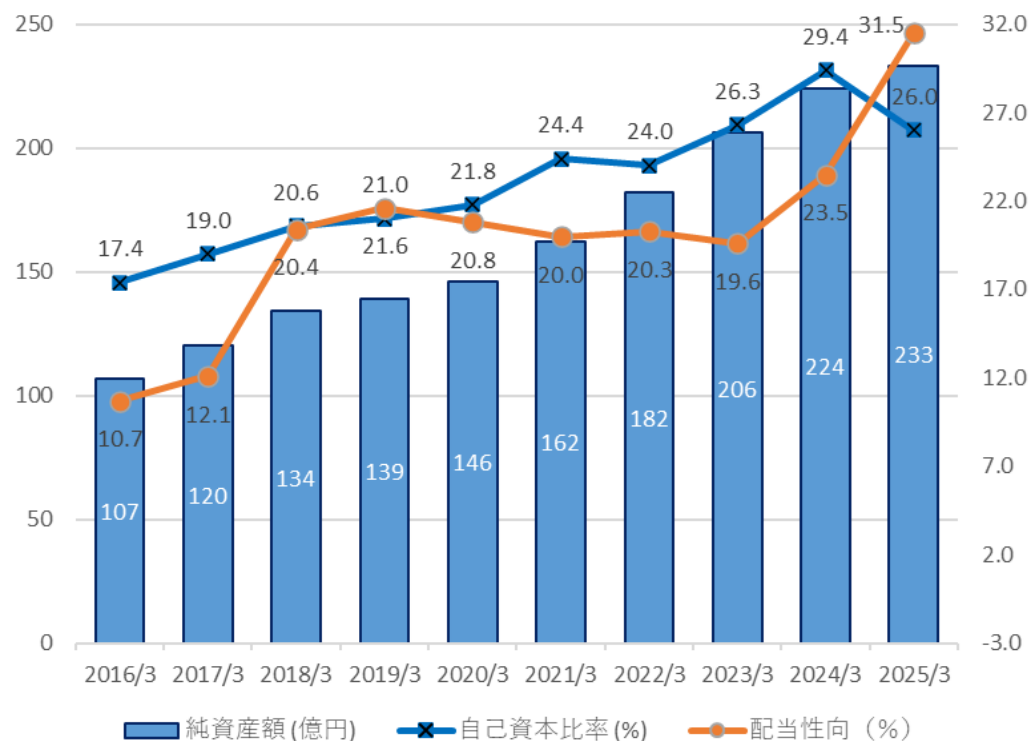
3つの重要課題を認識

ROE改善のためには明確な成長戦略と適切な成長投資に向けたキャッシュアロケーション方針の策定が必要

経営方針：資本効率をより意識した経営への進化

財務健全性を重視した経営方針

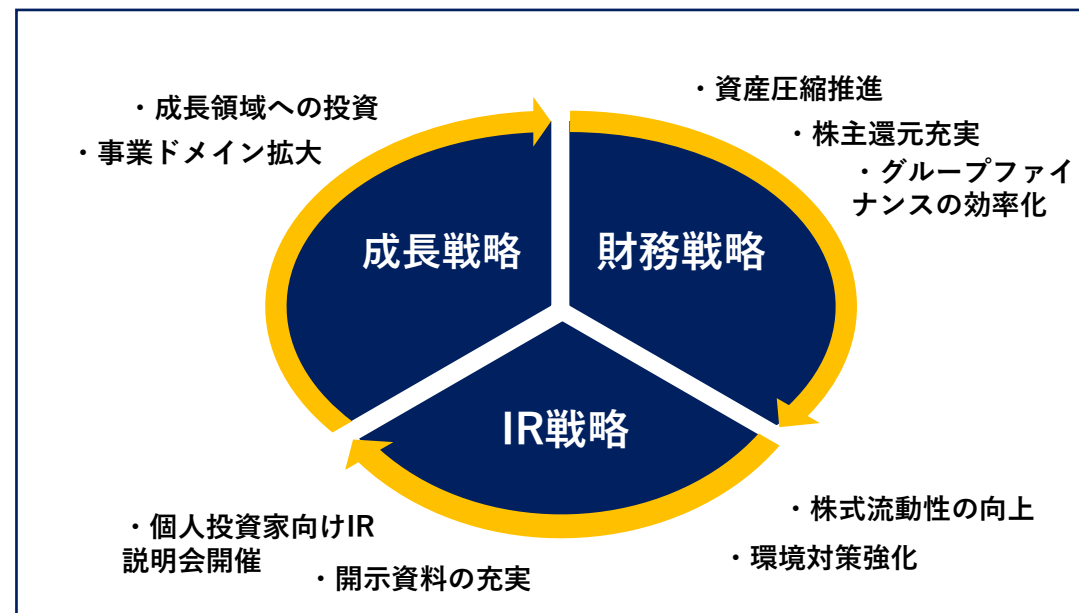
- ◆ 自己資本の充実を図り、強固な財務体質を確立することが重点課題
- ◆ 2018/3月期に自己資本比率20%を確保したことから、株主還元にも注力



より魅力ある企業へ

資本効率をより意識した経営方針

- ◆ グループパーパス実現のための基礎となる確かな成長戦略が重点課題
- ◆ 最適資本構成を追求し、企業価値の拡大を図る



経営基盤強化

人的資本強化

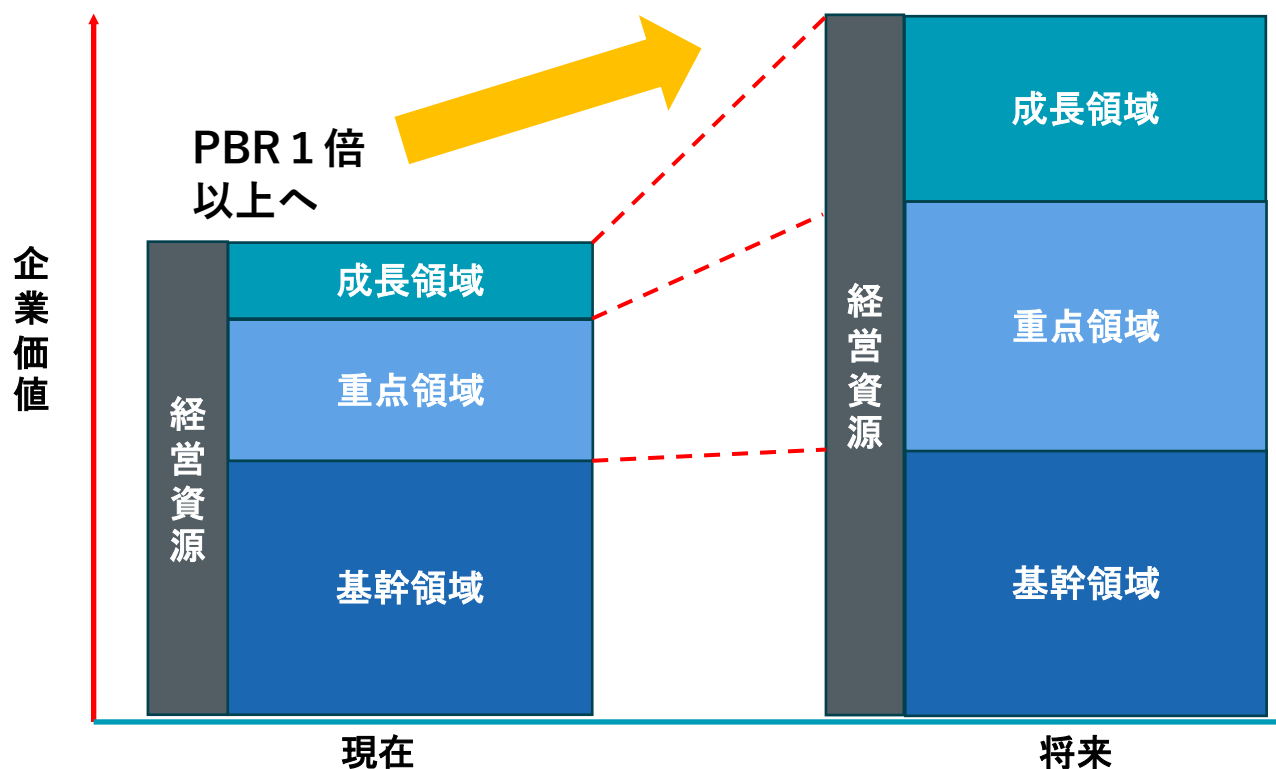
ガバナンス強化

DX推進

成長戦略

2030年新設住宅着工戸数70万戸時代に向け、各領域に向けた適切な経営資源の分配を行い継続的な成長を図る。

〈領域別の事業価値イメージ〉



〈領域別の戦略イメージ〉

成長領域	脱炭素社会の実現などに向け、市場拡大が見込まれる分野に先行的に投資し、マーケットリーダーを目指す
重点領域	当社グループが強みを持つ市場に対し、重点的に経営資源を投入し拡大を図る
基幹領域	DX活用などにより建築資材流通の効率化や業務改善を推進する
経営資源	社員エンゲージメントの向上やガバナンス強化、TCFD対応など企業体質強化を図る

2030年のあるべき姿及び具体的戦略を次期中期経営計画にて策定予定

財務戦略

営業キャッシュフローの最大化や資産圧縮を図るとともに、最適なキャッシュアロケーション方針を策定し、最適資本構成を実現する。

直近5年間の状況

今後5年間の想定

複数のM&A等
を実施

配当性向20%程度
の実績

◆人的資本投資
◆新本社建設
◆IT投資

キャッシュイン

キャッシュアウト

営業CF
130億円

成長投資
30億円

株主還元
20億円

基盤強化
80億円

※新本社建設：約40億円

キャッシュイン

キャッシュアウト

資産圧縮
15億円

営業CF
150億円

成長投資
50億円

株主還元
55億円

基盤強化
60億円

事業領域の拡大や機能強化のための積極的な成長投資

株主還元の拡充
配当性向：30%→**40%**

人的資本強化
(人材育成・リスクリング推進)
IT投資
(デジタル活用による効率化推進)

ESG対策強化

- ・サステナビリティ対応強化
- ・TCFD開示への対応
- ・人的資本経営の深化
- ・ガバナンス強化
- ・役員向け株式報酬制度の導入

etc

投資家との対話強化

- ・決算説明会及び個人投資家向けIR説明会の継続開催
- ・開示内容の充実
- ・安定的な配当の実施

etc

株式流動性向上

- ・自己株式を活用した役員及び従業員向け株式報酬制度の導入
- ・従業員持株会の助成拡大

etc

上記施策を実施し、成長期待率の向上並びに資本コストの抑制を図り
PER改善を実現する

(注) 上記施策は、今後の検討対象となりうる事項をご参考までに記載しているものであります。
具体的に実施する内容が決まりましたら、都度、各法令及び規則に則り公表してまいります。

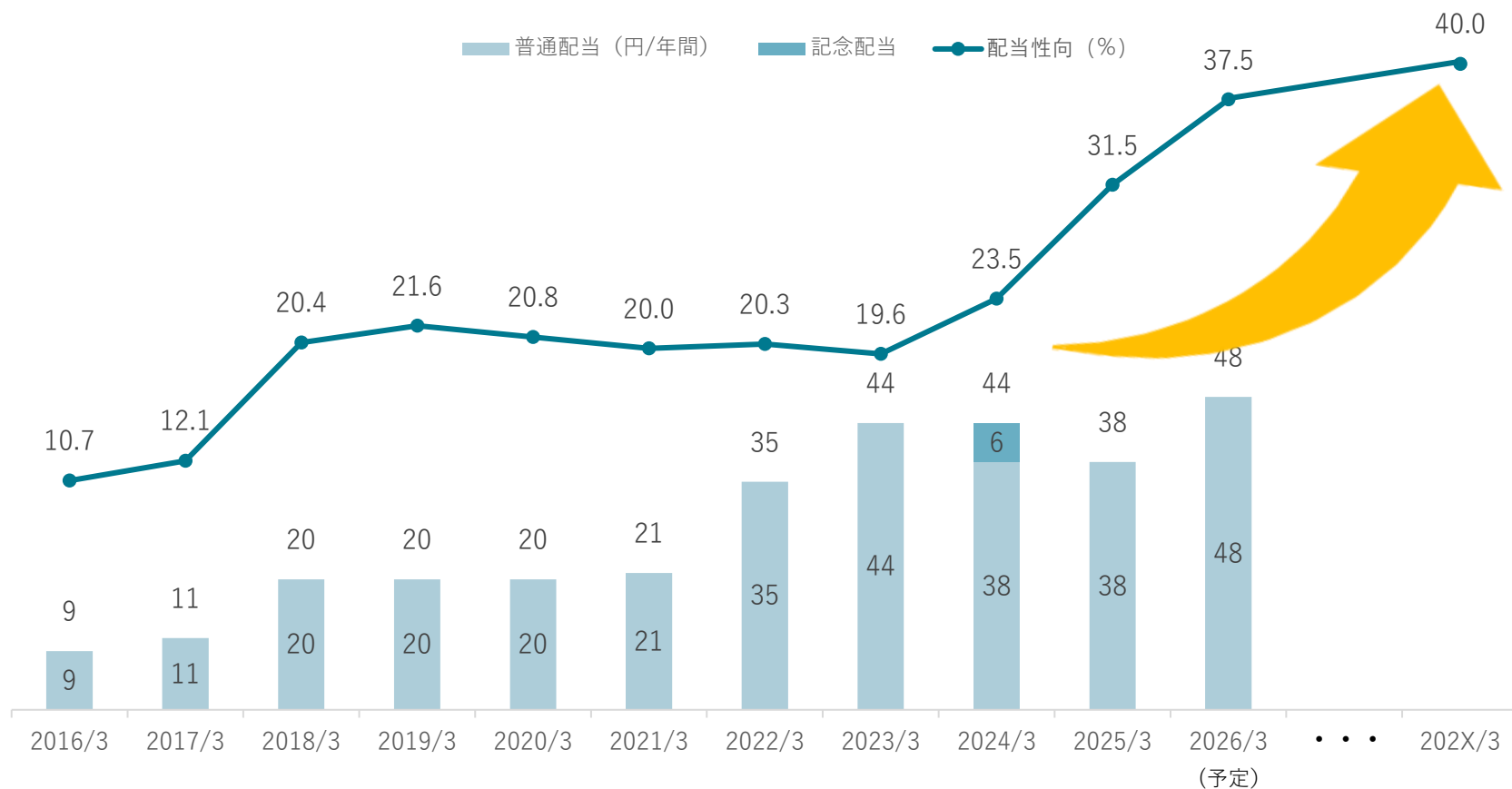
株主還元

一定程度自己資本の充実が図れたことから株主還元方針を以下のとおり変更

連結配当性向30%目途



連結配当性向**40%**目安



株主優待について

対象株主	3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された100株以上保有の株主様
優待内容	対象株主様に一律QUOカード2,000円分を年1回贈呈
贈呈時期	毎年6月予定



GEO LIVE

次の生き方をつくろう。

ジオリーブグループ株式会社